

第二次美祢市総合計画

総合戦略

第 2 回都市計画部会
(素案)

令和元年 7 月 8 日【修正】

美祢市

重点戦略 4

「ずっと住みたい！」安心を提供する暮らしの向上

戦略方針 1 安全・安心な環境の提供

本市は、全国的に見て、地震や犯罪の発生が少ない特長があります。地震の発生回数も少ない市であり、また犯罪の発生率も少ない特長があります。また、これまでの取組により犯罪認知件数の減少や人口に占める消防団員割合の増加、安全安心メールの登録件数の増加などの成果が上がっています。

人口減少と少子高齢化が進行する中、国で示されている「『我が事・丸ごと』地域共生社会」の実現に向けて、高齢者や子育て家庭、障害のある人など誰もが互いを認め合い安心して暮らせるよう、官民が一体となって地域における包括的なケア体制を構築していくことが求められています。

そのため、災害に強い安全なまちを維持しつつ、医療・福祉の充実と地域内における支え合いの仕組みの構築を進め、安心してずっと住み続けられる環境の充実に取り組みます。

具体的施策

4-1-1. 防犯・防災対策の充実

内容	地震や風水害などの様々な災害に対する地域コミュニティの役割を明確にし、消防団や自主防災組織の充実、ICTの活用による迅速な避難行動につなげる仕組みをつくるなど、住民が地域防災の担い手となる環境を整備します。 また、地域ぐるみで防犯体制を充実させるとともに、多様なツールにより防犯・犯罪情報をリアルタイムで発信できる注意喚起の体制を整備します。		
KPI	項目	現状値	目標値
	人口千人当たりの犯罪認知件数	1.8	1.3
	人口に占める消防団員数の割合		

4-1-3. 既存ストックのマネジメント強化

内容	その多くが昭和中期に整備された公共施設や公共インフラ等が老朽化していくことが課題となっていることから、これらの維持管理について民間のノウハウ等も活用しながら、適切にマネジメントし、民間の技術開発や地域の創意工夫を活用したPPP/PFI等による効率化を進めます。
----	--

	項目	現状値	目標値
KPI	PPP/PFI導入検討数		
	公共施設除却面積		

戦略方針 2 都市拠点・地域拠点の整備

将来に渡って誰もが住みたいまちとするためには、便利で生活しやすいまちの基盤づくりが必要となります。そのため、車がなくても生活できるよう、地域公共交通網の確保を進めるなど、各拠点を結ぶネットワークを充実させます。

また、快適でにぎわいのあるまちづくりを進め、利便性の高い生活サービス機能を確保するため、住民等の協力を得ながら、公共施設、商業、医療・福祉等の生活サービス機能や居住の維持・誘導による、集約型都市構造を目指します。

具体的施策

4-2-1. 都市拠点・地域拠点と地域のネットワーク化による利便性の確保

内容	市民が不便なく生活サービスを利用できるよう、公共施設、商業、医療・福祉等の生活サービス機能を維持・誘導するとともに、都市機能の集約化を進めます。また、公共交通網の再構成をはじめとする周辺を含めた交通ネットワークの形成を進めます。		
KPI	項目	現状値（年度）	目標値（年度）
	1日当たりのJR 美祢線の利用者数		
	1日当たりの地域内交通の利用者数		593人（H33）
	主要結節点バス停利用環境改善数	-	4（H33）
	用途地域内の人口率		
	商業施設との地域公共交通連携事業取組数	1	3（H33）
	市内高校に入学する生徒の割合（再掲）	45.3%（H30）	

4-2-3. ~~観光振興と連動した~~公共交通機関の利用促進

内容	長門市・美祢市・山陽小野田市で構成するJR美祢線利用促進協議会を中心に、 観光面も含めた JR美祢線の利用を促す施策の充実を図り、JR美祢線利用者の増加を目指します。 また、市内のバス利用についても乗り継ぎなどの2次交通の充実に取り組みます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	美祢線年間乗客数		
	美祢駅1日当たり利用者数		

重点
戦略

5

「持続可能なまちづくり」の推進

戦略方針 1

持続可能な開発目標（SDGs）の取組推進と
~~ソサエティ5.0の実現~~ **ソサエティ5.0で実現する
社会**

SDGsとは、先進国、開発途上国を問わず、世界全体の経済・社会・環境の三側面における持続可能な開発を統合的取組として推進するものです。高齢化、環境問題など、各地方における諸課題の解決に貢献し、地域の持続可能な開発、発展に必要な指標となっています。

本市が取り組むジオパークの活動は、SDGsの取組み目標の一つである「**住み続けられるまちづくり**」の達成に繋がります。民間企業と行政との連携を促進し、地域の社会的課題の解決に向けた多様な関係者の参画により、SDGsに取り組むことで、「**高齢化社会に対応したまちづくり**」「**活力と魅力あるまちづくり**」に向けた住民参加型の地域づくりを進めます。

また、人工知能(AI)やIoT等がもたらす技術革新は、地域、年齢、性別、言語等による格差なく、多様なニーズ、潜在的なニーズにきめ細やかに対応したモノやサービスを提供することができる社会へと変化しつつあります。そのような中、**ソサエティ5.0による「経済的発展と社会課題の解決を両立し、人々が快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる、人間中心の社会(Society5.0)の実現**」を目指します。

具体的施策

5-1-1. SDGs達成に向けた取組の推進

内容	2030年までに達成を目指す持続可能な開発目標(SDGs)の実施を促進するため、未来都市計画の策定を目指し、行政及び企業、関係者による SDGsの達成のための 積極的な取組を進め、地域活動を促進するための普及促進活動を進めます。		
KPI	項目	現状値	目標値
	SDGsを知っている市民の割合		
	SDGs未来都市計画の策定		
	多文化共生社会事業参加者数(再掲)		

	森林間伐面積		
--	--------	--	--

5-1-2. 気候変動への適応を進める地域づくり

内容	温室効果ガスの排出削減や気候変動等への適応の推進に向け、美祢市地球温暖化対策実行計画を策定し、再生可能エネルギーや省エネルギー技術の導入の検討を進めます。 の取り組みを推進します。		
KPI		現状値	目標値
	温対法に基づく美祢市実行計画の策定	1	1

5-1-3. ~~Society 5.0の実現に向けた取組の推進~~AIや情報技術の進化による新

しい社会（ソサエティ 5.0）の実現に向けた取組の推進

内容	<p>全てのひととモノが情報通信によりつながり、新たな価値を生み出し、ソサエティ 5.0で象徴されるAI・IoTやロボティクスなどの革新的な技術の導入を積極的に推進します。</p> <p>また、少子高齢化、過疎化など地域の諸課題をイノベーションを通じ、新しい情報技術の活用により様々なニーズに対応できることで、ひとり一人が快適で活躍できるまちづくりを推進します。</p>		
KPI	項目	現状値	目標値
	地域IoTの実装事業への支援数		
	キャッシュレス決済導入店舗の割合(再掲)		
	マイナンバーカード取得率	12.1% (H30)	17.7% (R5)
	マイナンバーカード活用サービス数	0 (H30)	1 (R5)